

12-5 農村地域計画【選択科目Ⅱ】

Ⅱ 次の2問題（Ⅱ-1，Ⅱ-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

Ⅱ-1 次の4設問（Ⅱ-1-1～Ⅱ-1-4）のうち2設問を選び解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて解答設問番号を明記し、それぞれ1枚以内にまとめよ。）

Ⅱ-1-1 農業・農村において、地域資源を活用した6次産業化による地域の活性化について述べよ。

Ⅱ-1-2 都市と農村交流の多様な取組形態と具体的な事例について述べよ。

Ⅱ-1-3 農業生産活動を通じて発揮される農業・農村の代表的な多面的機能について述べよ。

Ⅱ-1-4 開発途上国への農業生産や生活改善等の技術支援における農業・農村振興計画策定の留意事項について述べよ。

Ⅱ－２ 次の２設問（Ⅱ－２－１，Ⅱ－２－２）のうち１設問を選び解答せよ。（解答設問番号を明記し，答案用紙２枚以内にまとめよ。）

Ⅱ－２－１ 我が国の食料の安定供給を図るためには，優良農地の確保と有効利用の促進が求められている。あなたが，農村地域計画作成業務の担当者として，耕作放棄地の解消対策に係る業務を進めるに当たり，下記の内容について記述せよ。

- (1) 対策計画の立案に当たって考慮すべき事項
- (2) 対策計画作成の手順
- (3) 対策を実現するための諸制度の内容と制度の導入に当たって留意すべき事項

Ⅱ－２－２ 我が国の農村地域においては，農家人口の減少，高齢化，混住化や中山間地域の過疎化が進行する中で農村地域の活性化が求められている。あなたが，農村地域計画作成業務の担当者として，安全・安心な農産物の供給・販売による農村地域の活性化を図るための計画策定を進めるに当たり，下記の内容について記述せよ。

- (1) 活性化計画策定に当たって考慮すべき事項
- (2) 計画策定に向けた課題抽出の手順
- (3) 活性化計画の実現性の観点から工夫すべき事項

12-5 農村地域計画【選択科目Ⅲ】

Ⅲ 次の2問題（Ⅲ-1，Ⅲ-2）のうち1問題を選び解答せよ。（解答問題番号を明記し，答案用紙3枚以内にまとめよ。）

Ⅲ-1 政策評価法の施行と，土地改良事業の事業内容が新設から更新整備へのシフト等により，平成19年度に新たに土地改良事業の費用対効果分析マニュアルが策定され，評価手法の改善が行われた。このことを踏まえて，費用対効果の評価に当たっての農村地域計画の技術士として以下の問いに答えよ。

- (1) 更新整備の費用対効果分析に当たって，検討しなければならない項目を多様な視点から述べよ。
- (2) 上述した検討すべき項目に対して，更新整備の事業内容の例を挙げて，評価に当たっての技術的課題を抽出し，主要な課題解決のための実現可能な分析評価方法を複数提示せよ。
- (3) あなたの提示した方法で評価した場合の総費用，総便益算定のメリットと評価する際の問題点について述べよ。

Ⅲ-2 地域農業の担い手として競争力のある経営体を育成・確保するためには，経営体が農地を使いやすいようにまとまった形で集積することが重要である。これらを実現するための方策について，農村地域計画の技術士として以下の問いに答えよ。

- (1) 農地の利用集積に当たって，検討しなければならない課題について，中山間地域，平地農村，都市近郊の3つの地帯別に述べよ。
- (2) 上述した地帯別の課題について，3つの地帯の中から1つの地帯を選び，解決すべき課題の主な事項について解決策を複数提示せよ。
- (3) あなたの提示した解決策で，農地集積を図る場合の政策的支援内容と支援を受け解決策を実現する際の問題点と対処方法について述べよ。